

三加和
中学校
学校たより

磨き合う



1限目

4月14日(金)

『磨きあう学校』Brush UP!!

本年度、2名の新しい先生方と、1名の施設管理員さんを迎え新体制で令和5年度がスタートしました。本年度の生徒数は、1年生27名、2年生25名、3年生21名の計73名です。この人数だからこそできること、三加和中だからこそ経験できる教育を実践し、未来の社会へ羽ばたく人を育てたいと考えています。

1人1人の生徒が、**自分を高めるために**様々なことに挑戦し、何事にも本気で取り組み、それぞれが活躍する場があり、お互いのことをあがりあり、たれもが安心できる支持的風土のある**磨きあう学校**を目指します。

そして、本年度の生徒会が考えてくれたスロ-カンが

『TRY』～大胆に、確実に、挑戦しよう～です。

生徒たちも、1人1人ことにチャレンジして頑張ろうとして来ています。以前聞いた話で『子どもはよくケがする。そしてその分治る力も強く、早く治る。それは、たくさんケがをして、痛みや危険を経験して強い大人になるためだ』とあります。学校でも、たくさん成功や失敗をくり返して、多くの経験をつんであきらめることに対応できる大人に育てていきたいと思っています。ルールをきずきず、**失敗するチャンスをうばわないように**したいと思っています。保護者の皆様もどうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。?

入学式の次の日の朝の出来事...

1年生の何気ないぐさに学ぶ



朝から自転車で登校してきた1年生の女子が、自転車小屋のどこにとめるかわからず戸惑っていました。そこで場所を教えたら、そこに

自転車をとめることができました。まあ、入学直後の普通によくある光景です。私が感動したのは、その後のその子の言動でした。その女子は、ペコリと頭を下げ、『ありがとうございました』と言って教室に向かったのです。おそらく、その子としてはごくごく当たり前で自然な行為だったのでは？が、挨拶すらうまくできない子が増えてきているこの世の中で、感謝の言葉を口にし、頭を下げ歩いていく姿に、自分の心が洗われた気がしました。1111年という私ですが、その女子に習って、そんな感謝の言葉を言う、と言える人であらうと思った場面でした。

自力登校とは...



その日は朝から雨が降っていたのですが、

自力登校は、体力をつけるだけでなく、学ぶものがたくさんあります。そのひとつの例が、1年生の男子が自転車のかごに入れてきたハンガーです。ん？なんでハンガー？と思いました。他の年生を見て気づきました。他の子はぬれたままカッパをかごに入れていたのですが、その男子はハンガーにかけて自転車小屋に干しておけるのです？『何でハンガーは持ってきた？』と聞いたところ、『お姉ちゃんに聞いたから...』そう、お姉ちゃんも普段から雨の日でも自力登校をして、ハンガーかなとぬれたカッパの置き場に困ることを経験していたから分かっていた人ですね。これは、そういう経験をした人にしか分かりません。おそらく、この日カッパの置き場に困った1年生は、次、そうしよう...と知恵をつけると思います。そういう1人1人の経験が人を成長させるのです。ですから、左にも書いたように、子どもに対して上げ膳据え用事で、失敗するチャンスを奪わないようにしていただけたらと思います。もし土砂降りだったら？暑かったら？寒いときは？...かわいい子には旅をさせよ。

です。よろしくお願いいたします。

返信よろしくお願ひします。

ご意見感想など、なんでもOKです!!

